

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320244	X-21-B-1-320244	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
韓国語 1 bA	川上 洋子			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
<p>日本社会においてアジアの言語を学習することは異文化理解・多文化共生の理念を実現するための土台を作ることにつながる。韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語とよく似た構造をもっており、日本人にはとても習得しやすい外国語といえる。この授業では、まず、表音文字としてのハングルの構造を正しく理解し、読み書きを十分に練習して単語・短文の自然な発音に慣れるようにする。さらに日本語と比較しながら韓国語の基本文法及び文型を学習する。また簡単な日常会話を覚え、入門・初級レベルの語学力を身につけることができる</p> <p>この授業は主に文法が中心である。</p>							
各回の授業内容							
第1回 【授】 韓国語の文字であるハングルの仕組みを理解しながら子音字を習得する。 【前・後】 子音 19 字の文字と発音の練習（復習・予習各1時間） 第2回 【授】 発音の規則（変化）を練習する 【前・後】 連音化・激音化・鼻音化（復習・予習各1時間） 第3回 【授】 第1、2課 【前・後】 입니다/ 입니까? / 은/ 는（復習・予習各1時間） 第4回 【授】 第3、4課 【前・後】 이예요/ 예요 / 이/가（復習・予習各1時間） 第5回 【授】 第5、6課 【前・後】 의 / 이/가 아니다（復習・予習各1時間） 第6回 【授】 第7、8課 【前・後】 습니다/ 습니까? / 을/ 를（復習・予習各1時間） 第7回 【授】 第9、10課 【前・後】 이./그./저 / 漢数字（復習・予習各1時間） 第8回 【授】 第11、12課 【前・後】 아요/ 어요 / 固有の数字（復習・予習各1時間）				第9回 【授】 韓国の映画鑑賞（1） 【前・後】 映画を見ながら聞き取れた韓国語をハングルで書く。 第10回 【授】 韓国の映画鑑賞（2） 【前・後】 映画を見ながら聞き取れた韓国語をハングルで書く。 映画鑑賞文を書く。 第11回 【授】 第13、14課 【前・後】 예 / 하고（復習・予習各1時間） 第12回 【授】 第15、16課 【前・後】 単位名詞 / ㄹ 変則（復習・予習各1時間） 第13回 【授】 第17、18課 【前・後】 은/ 는 / 안-/지 않다（復習・予習各1時間） 第14回 【授】 第19、20課 【前・後】 에서 / 고（復習・予習各1時間） 第15回 【授】 期末筆記試験 【前・後】 筆記試験の時間：1時間 第16回			
成績評価方法							
【評価方法】筆記試験の点数（50%）授業内の小テスト（30%）課題（10%）授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。 ※上記14回分の講義（試験を除く）に加えて授業1回分の課題を課す。この課題も評価の対象とする。詳細は授業内にて提示する。 【フィードバックの方法】小テスト、宿題は確認後に次回授業時に返却する。試験後にライン等で模範解答を発表する。							
教科書・参考書							
教科書『慶熙韓国語初級1・文法』国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局							
受講に当たっての留意事項							
言葉だけではなく、異国の文化も理解しようとする広い心の構えで授業に臨むこと。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	講師経験を基に初級レベルでつまづきやすいポイントに考慮し指導、解説をする。						○
学習到達目標							
初級1レベルの韓国語の文法を習得することで、韓国語の運用能力の基礎が身に付く。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320244	X-21-B-1-320244	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
韓国語 1bB	朴 修禧			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
<p>日本社会においてアジアの言語を学習することは異文化理解・多文化共生の理念を実現するための土台を作ることにつながる。韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語とよく似た構造をもっており、日本人にはとても習得しやすい外国語といえる。この授業では、まず、表音文字としてのハングルの構造を正しく理解し、読み書きを十分に練習して単語・短文の自然な発音に慣れるようにする。さらに日本語と比較しながら韓国語の基本文法及び文型を学習する。また簡単な日常会話を覚え、入門・初級レベルの語学力を身につけることができる</p> <p>この授業は主に文法が中心である。</p>							
各回の授業内容							
第1回 【授】 韓国語の文字であるハングルの仕組みを理解しながら子音字を習得する。 【前・後】 子音 19 字の文字と発音の練習 (復習・予習各1時間) 第2回 【授】 発音の規則 (変化) を練習する 【前・後】 連音化・激音化・鼻音化 (復習・予習各1時間) 第3回 【授】 第1、2課 【前・後】 입니다/ 입니까? / 은/ 는 (復習・予習各1時間) 第4回 【授】 第3、4課 【前・後】 이예요/ 예요 ・ 이/가 (復習・予習各1時間) 第5回 【授】 第5、6課 【前・後】 의 ・ 이/가 아니다 (復習・予習各1時間) 第6回 【授】 第7、8課 【前・後】 습니다/ 습니까? ・ 을/ 를 (復習・予習各1時間) 第7回 【授】 第9、10課 【前・後】 이./그./저 ・ 漢数字 (復習・予習各1時間) 第8回 【授】 第11、12課 【前・後】 아요/ 어요 ・ 固有の数字 (復習・予習各1時間)				第9回 【授】 韓国の映画鑑賞 (1) 【前・後】 映画を見ながら聞き取れた韓国語をハングルで書く。 第10回 【授】 韓国の映画鑑賞 (2) 【前・後】 映画を見ながら聞き取れた韓国語をハングルで書く。 映画鑑賞文を書く。 第11回 【授】 第13、14課 【前・後】 에 ・ 하고 (復習・予習各1時間) 第12回 【授】 第15、16課 【前・後】 単位名詞 ・ ㅂ変則 (復習・予習各1時間) 第13回 【授】 第17、18課 【前・後】 은/ 는 ・ 안-/지 않다 (復習・予習各1時間) 第14回 【授】 第19、20課 【前・後】 에서 ・ 고 (復習・予習各1時間) 第15回 【授】 筆記試験 【前・後】 筆記試験の時間は1時間 第16回			
成績評価方法							
【評価方法】 筆記試験の点数 (50%) 授業内の小テスト (30%) 課題 (10%) 授業参加状況 (10%) を合わせて総合的に評価する。 【フィードバックの方法】 試験後にラインで模範解答を知らせる。 ※上記14回分の講義 (試験を除く) に加えて1回分の課題を課す。詳細は授業中に指示を出します。							
教科書・参考書							
教科書 『慶熙韓国語初級1・文法』 国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局							
受講に当たっての留意事項							
言葉だけではなく、異国の文化も理解しようとする広い心の構えで授業に臨むこと。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
×							○
学習到達目標							
韓国語の初級の文法を習得。							
JABEE							

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習